

チャイルズタイムス

2026年1月

No.378

～みのがせないしんぶん～

イタリア



えほん E／むかし／世界
『プッчエットのぼうし』
中脇 初枝／再話
アヤ井 アキコ／絵
うちだ りさこ／訳
あすなろ書房

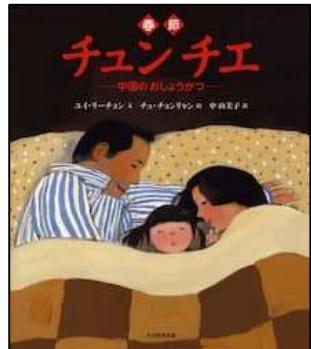


プッчエットはすてきなぼうしをもっていましたが、なくしてしまいました。すると、そのぼうしを見つけたチョッケットは、「パンをくれなきゃ、ぼうしはあげない」と言います。そこでプッчエットはパンやさんに行きます。するとこんどは、「ミルクをくれなきゃ、パンはあげない」と言われます。プッчエットは、ぼうしをとりもどすことができるのでしょうか。どんどんお話をつみあがっていくのがゆかいな一冊です。



はっこう：さがみおおのとしょかん

でんわ：042-749-2244



仕事が忙しい父さんが、一年にたった一度だけ帰ってくる春節（チunjue）。

おうちで湯圓（タンユエン）を食べたり、ねんしまわりに行ったり……。

家族で過ごす大切な時間を描いたお話です。

えほん E

『チunjue 中国のおしょうがつ』

ユイ・リーチョン／文 チュ・チunjリヤン／絵
中 由美子／訳 光村教育図書

中国

アメリカ



雲について書かれた、アメリカのちしき絵本です。雲のことがいろいろわかるのはもちろん、アメリカの言い伝えや神話なども紹介されています。ユーモアたっぷりの絵も楽しいです。

えほん E/そらいろ/ちしき

『雲をみようよ』

トミー・デ・パオラ／作 福本 友美子／訳 光村教育図書



ハイジは明るく元気な女の子。アルプスの山でおじいさんと暮らしています。ところがある日、おじいさんと離れて都会のお金持ちの家に移り住むことになりました。でも、ハイジはアルプスの山が忘れられません。



スイス

ものがたり J943/ス

『ハイジ』上・下
ヨハンナ・シュピリ／作
上田 真而子／訳 岩波書店



ゴハおじさんのお話は、何百年もの間、エジプトの人びとに愛され、語りつがれてきたものです。笑いあり、とんちありの短いお話が集められたこの本は、さし絵にも地元の職人さんが作った布製の絵を使っています。お話も絵も、どちらも楽しい一冊です。

ちしき J38

『ゴハおじさんのゆかいなお話 エジプトの民話』

デニス・ジョンソン - ディヴィーズ／再話
ハグ - ハムディ・モハンメド・ファトゥーフと
ハーニー・エル - サイード・アハマド／絵
千葉 茂樹／訳 徳間書店



国や地域によって言葉も、朝ごはんもちがう世界中の子どもたち。学校に行くときの服装は？ しゃっくりのなおしかたは？ 齒がぬけたらどうするの？ この本では、さまざまな国の生活や伝統がイラストで紹介されています。

ちしき J30

『ようこそみんなの世界へ 世界中の子どもたち、

ばんざい！』モイラ・バターフィールド／文
ハリエット・ライナス／絵
西山 佑・山崎 伸子／訳 化学同人



斐济

えほん E/か

『ディロの樹の下で アピのいた海』

尾崎 真澄／文 川上 越子／絵
脚ノ 好美／監修 架空社



エジプト



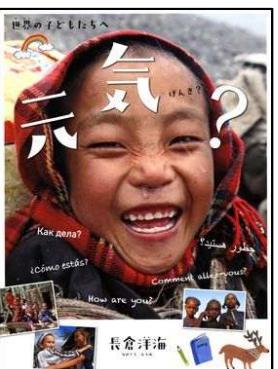
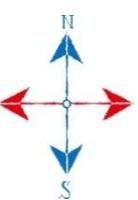
ブラジルの大きな森の村に住むヤチは、トウモロコシで作ったお人形・クルミンをとてもかわいがっていました。ある日、お母さんにしかられ、クルミンをすてられてしまうと思ったヤチは、川のほとりの砂の下にクルミンを隠します。ところが、大雨がふってきて……。

ブラジル

えほん E

『ヤチのおにんぎょう ブラジル民話より』

C・センドレラ／文 グロリア・C・バイバン／絵
はせがわ しろう／訳 ほるぷ出版



ちしき J38 『げんき？ 世界の子どもたちへ』

長倉 洋海／著 朝日新聞出版



この本は、写真家の長倉洋海さんが小学生新聞で連載していた「ぼくが出会った世界の子どもたち」を再編集したものです。世界各地で出会った子どもたちの生き生きとした表情がとてもすてきです。外国の子どもたちの生活の様子がよくわかり、驚くようなこともたくさん書かれています。本を通して世界の広さを感じてみてください。



しんちやくほん
新着本コーナー



おいしいものをたべるとき、どんな“おかお”になるのでしょうか？

らーめん、うめぼしおにぎり、アイスクリーム……。

みーちゃんとわんたくんといっしょに、“おいしい おかお”になってみませんか。

かみしばい C

『おいしいおいしいお・か・お！』

森川 かりん／脚本 久住 卓也／絵 童心社



5300万年前、パキケタスという大型犬のような生き物がいました。パキケタスは、他のほにゅう類が見向きもしなかった水の中に、たくさんのエサがあることに気づきました。水の中のエサを求めて、どんどん姿を変えていき……。
とてもなく長い時間をかけたクジラの進化がえがかれた絵本です。

えほん E／あお／ちしき

『海でつばさを手に入れる 5300万年前に始まったクジラの挑戦』
中村 玄／作 箕輪 義隆／絵 理論社

ある日、子ヒツジがあまい香りにさせられて歩いていくと、おいしい草がたくさん生えたはらっぱにつきました。そこは、バイソンやラクダ、キリン、トナカイ……つまり“ぐうていもく”的な仲間が集まるはらっぱでした。“ぐうていもく”ってなんでしょう？ 知っている人も知らない人も、ぜひこの本を読んで“ぐうていもく”的仲間に会いに行ってみてください。

のんびりとしたおはなしと詩が楽しめる本です。

ものがたり J913／コ

『あくびなかまとはらっぱで』

小島 敬太／作 鬼頭 祈／絵 偕成社



2014年、アメリカで、ある“日章旗”が見つかりました。日章旗とは、戦争中、軍人が持っていたお守りのようなもので、日の丸の旗に親しい人たちの名前が寄せ書きされています。その名前を頼りに、日章旗の持ち主を探すことになりました。

戦争を行った軍人とその家族の思いが胸につきさります。

ちしき J21

『一郎くんの写真 日章旗の持ち主をさがして』

木原 育子／文 沢野 ひとし／絵 福音館書店